

港区教育委員会教育長 新宮弘章様

区立本村幼稚園に関する要望書

本村幼稚園園児募集再開

令和 7 年 2 月に港区議会へ提出した「本村幼稚園に関する請願」の書面および区議会での趣旨説明でも言及されたとおり、園児が通園できる距離はその体力をもって非常に限定的で、毎日の登園には天候も大きく影響します。区立幼稚園の存在意義は「区内の子ども全てに門戸が開かれている」ところであり、区立幼稚園を希望する子どもたちの中には心身に不便を抱えている子どもも少なくありません。

下記理由を主軸として、地域住民として、また未就学児を持つ世帯を代表して、港区立本村幼稚園の園児募集再開を強く希望いたします。

●麻布地区の南山幼稚園および麻布幼稚園での令和 8 年度の 3 歳児はほぼ定員満となっており、麻布地区での区立幼稚園の需要の高さが示されている。麻布地区隣接の赤羽幼稚園も定員満、三光幼稚園は定員 15 名に対し 11 名となっており、麻布地区の 3 歳児が入園できる区立幼稚園はほとんどない状態である。

●本村幼稚園が 2 年保育であったことや休園となったことで、遠方の南山幼稚園まで徒歩で 30 分かけて通わなければならない家庭が多く発生し、送迎の負担が重い現状は子育て支援の観点から容易に看過できない。

●現在港区教育委員会が打ち出している、令和 8 年度からの預かり保育の大幅拡充、令和 8 年度からの弁当給食制度の開始、それに伴うアレルギーや宗教を理由に弁当給食を食べられない家庭への補助制度開始、ネイティブティーチャー派遣制度など「区立園魅力向上対策」が区民に浸透していない時期での園児数減少を理由とした休園措置は、早急である。

●区立園において建物や敷地、園庭を共有する真の「小学校併設園」は港区の中でも稀有な存在である。

●併設の本村小学校は令和 6 年度、7 年度、令和 8 年度と 3 年連続で新入学学校選択希望制の抽選対象となっており、学区域および学区外区域から入学を希望する児童が多い学校である。

同様に、抽選対象校となっている小学校は近隣の白金の丘小学校、筈小学校、東町小学校と、芝浜小学校を除くと全て白金・麻布地区の小学校である。故に、3 年保育が実現すれば併設の本村幼稚園へのニーズは決して少なくない。

●本村小学校の学区域(南麻布三丁目)に、総戸数 121 戸のタワーマンションが令和 8 年 9 月竣工予定。また学区内に新築大型マンションの建設が既に複数始動しており(添付地図参照)、3 年以内に学区へのファミリー世帯の大幅な転入が見込まれる。

入園を希望する園児は上記に挙げた理由と連動し、一定数存在することが見込まれます。4-5 歳児複式学級導入による 3 歳児受け入れの実施および区立園魅力向上策の十分な周知が為されないまま休園および閉園に進行していくことは区民のニーズに大きく反しています。本村幼稚園という幼児教育にふさわしい施設と環境、一人一人が輝くことができる場で育つ港区の子どもたちの未来をもう一度取り戻したく、ここに、本村幼稚園の休園措置の解除と園児受け入れの再開を強く希望します。

本村幼稚園入園検討者

保護者	児童	年齢	令和 9 年度	住所
		5 歳	5 歳児クラス	港区南麻布
		4 歳	5 歳児クラス	港区白金
		4 歳	5 歳児クラス	港区南麻布
		4 歳	4 歳児クラス	港区南麻布
		3 歳	4 歳児クラス	港区元麻布
		4 歳	4 歳児クラス	港区元麻布
		2 歳	3 歳児クラス	港区南麻布
		0 歳	将来の入園希望	港区元麻布
		0 歳	将来の入園希望	港区元麻布